

鎌倉市鏑木清方記念美術館 平成30年度第4四半期実績評価

1 美術館の利用の承認等に関する業務

● 来館者数の動向

- ・第4四半期の来館者数は、4,775人(前年度同期 5,051人)で、前年度同期と比べ約5.5%減であった。
- ・今指定管理期間(平成26年度～平成30年度)5年間の第4四半期において、最も少ない来館者数であった。

2 美術館の施設及び設備の維持管理並びに運営に関する業務

● 施設・設備の維持管理

- ・設備機器点検を行い、設備の管理を的確に実施した。
- ・異常が発生した場合、速やかに対応し、施設の維持管理に努めた。
- ・建物状況調査(自主点検)及び建築物定期点検に対応、協力した。
- ・季節に応じた植物の植付などを行った。
- ・第4四半期で2回実施すべき空調設備風量測定業務を1回しか実施しなかった。
(年度計画では年6回実施することになっていたが、第3四半期まで6/20、8/17、10/18、12/24の4回実施し、第4四半期は2回実施すべきところ2/27に1回のみ実施)

● 施設の運営

- ・展覧会ごとにチラシやポスター等を作成し、周知に努めた。
- ・窓口における受付、施設案内等を適切に行った。
- ・ツイッター等のSNSを活用し、美術館の宣伝強化に努めた。

3 美術館の事業の企画及び実施に関する業務

● 展示・その他事業

- ・予定どおり企画展を開催した。
 - * 展示替 57作品68点の展示(1月)
 - 66作品66点の展示(2月)
 - 66作品66点の展示(3月)
- ・各展覧会で展示解説を行い、延べ116人の参加者があった。
- ・近隣文化施設との連携企画など多彩な普及事業を開催した。
 - * 1月に来館者を対象に「新春福引き」を実施し、1,029人が参加し、好評であった。
 - * 昨年度に引き続き、山口蓬春記念館と連携し、各館で学芸員による連携企画トークイベントを開催した。

● その他必要な業務

- ・鏑木美術品の調査研究、近隣文化施設との連携スタンプラリー関連イベントや、山口蓬春記念館と連携し、相互割引を行い、他館との連携に努め美術館のPRを行った。

4 鏑木美術品等の収集、修復、調査研究等に関する業務

● 収集・保管

- ・作品等の保管や展示の状況確認を1月7日、2月13日、3月13日に行い、結果は良好であった。

● 調査・研究

1月

山田美妙の著作に掲載の口絵に関する調査、明治・大正のポスターに関する資料の調査、大正期の画壇と美人画の評価についての調査、清方と山口蓬春との関わりについての調査、大正期の美人画における洋画と日本画との交流についての調査、金鈴社展出品作品に関する調査、日本美術学院の日本画講義に関する調査、『新浮世絵講義』に関する調査

2月

歌舞伎「先代萩」の内容と舞台演出に関する調査、歌舞伎「寺子屋」の内容に関する調査、「歌舞伎座合評」の清方記述部分に関する調査、西田青坡の清方門下時代の作品実見調査、金鈴社における風景画制作に関する調査、吉川壺華作品の実見調査、『中央美術』に関する調査、三遊亭圓朝と月岡芳年に関する調査

3月

木版画の制作工程についての調査、子ども向けキャプションの実例調査、清方の随筆における20～30代の作品制作についての記述に関する調査、篠野採菊、三遊亭圓朝に関する調査、清方の弟子 西田青坡の画業の調査、戦時中の清方の画業についての調査、川瀬巴水の遺品の実見調査、大正期の美術展についての先行研究調査、培広庵コレクションの実見調査

5 その他市長が定める業務等

● 事務処理

- ・例月の指定管理業務報告書等は期日までに提出されている(1月分:2月14日、2月分:3月12日、3月分:4月10日提出)。
- ・休館情報や展示替えに伴うホームページの情報更新が適切に行われていた。
- ・市広報に展覧会や日本画ワークショップ等の情報を掲載し、市民への周知を行った。
- ・モニター広告を利用し、市役所本庁舎への来庁者に展覧会内容を周知した。

● 事故・苦情対応

- ・事故や苦情はなし。

● その他

- ・Study session#2「20年たった今、日本の対話型鑑賞はどうなったのか？」に参加した。
- ・第33回学芸員研究会に参加した。
- ・全国美術館会議 小規模館研究部会第48回研修会に参加した。
- ・2018年度第1回マルパ研修会に参加した。
- ・第33回学芸員研究会に参加した。

6 全体評価

- ・第4四半期の来館者数は4,775人、昨年度同期の5,051人と比較して276人・約5.5%の減となっている。前指定期間の同四半期の平均値(5,977人)と比較して79.9%となり、80%以上の水準にないため5点減点とする。昨年度の来館者数と比較して、1月・2月は減少し、3月は微増した。1月に来館者を対象に実施した展覧会関連企画である「新春福引き」は1,029人が参加し好評であった。今後は冬期の入館者数が減少しないよう、冬期イベントをさらに充実させるなど指定管理者に検討を求めたい。
- ・春休み期間の3月24日から3月31日まで、春休み親子鑑賞を開催し、7日間で28名の参加があった。市民に定着しているイベントである。
- ・近隣文化施設との連携スタンプラリー関連イベントを実施し、また、山口蓬春記念館との相互割引を行った。
- ・施設の維持管理業務に関しては、日常点検をはじめ、各種定期点検を一部を除き計画的に実施している。年間6回実施すべき空調設備風量測定業務を、第3四半期まで4回実施し、第4四半期で2回実施すべきところ1回しか実施しなかった。その結果年間5回の実施となり、定められた点検が実施されなかったので5点減点とする。今後は実施回数について十分注意するよう指導した。
- ・合計10点の減点となるので、四半期に支払われるべき指定管理料の5%を減額する。当該四半期が、指定管理期間の終了年度の最終四半期であるが、その時点で減額額が生じた場合には、当該指定管理に関する協定期間終了後においても指定管理者は本市に返還することとなっている。

鎌倉市鏑木清方記念美術館 平成30年度第4四半期判定評価

評価項目	判定点	第4四半期 評価結果	減点
1 利用の承認等に関する業務			
来館者数の動向			
入館者数が前指定期間の同四半期の平均値と比較して80%以上の水準にあるか(不可抗力を原因とするものを除く)	5	×	5
特別利用			
作品に悪影響が出ないような適正な承認を行っているか	10	○	
2 美術館の施設及び設備の維持管理並びに運営に関する業務			
施設・設備の維持管理			
定められた点検が実施されているか	5	×	5
不具合箇所を放置せず、必要に応じて修繕を実施しているか	5	○	
庭園、進入路などの手入れはきちんとされているか	5	○	
施設の運営			
館及び展覧会の周知が積極的に図られているか	5	○	
3 美術館の事業の企画及び実施に関する業務			
展示			
計画どおりに展覧会が開催されているか	10	○	
その他必要な業務			
展示以外の自主事業は適正に実施されているか	5	○	
来館者ニーズの把握・反映につとめているか	5	○	
4 鏑木美術品等の収集、修復、調査研究等に関する業務			
美術品等の維持管理			
美術品の所在は確認されているか	3	○	
温湿度管理など、美術品が適切に取り扱われているか	5	○	
調査・研究			
計画どおり調査・研究が進められているか	5	○	
出版物の管理・保管は適切に行われているか	3	○	
5 その他市長が定める業務等			
事務処理			
決められた期日までに報告書は提出されているか	5	○	
市との連絡調整はきちんとされているか	5	○	
市と協議を行った事項は確実に実施されているか	5	○	
固有の銀行口座で適正な会計処理を行っているか	10	○	
苦情対応			
来館者や近隣との間のトラブルに適正な対処をしているか	5	○	
苦情・要望への迅速な処理、市への報告はされているか	5	○	
その他			
研修等自己啓発の努力がされているか	3	○	
災害時の対応ができるよう、準備はされているか	3	○	
個人情報は適切に管理されているか	10	○	
減点の計	122		10

実施されている場合・・・○ 実施されていない場合・・・×

減額率

減点の合計	減額率
10～15	5%
16～20	10%
21～	20%